

**製品名: 切断型カテプシン G (I21) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08976**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	28+26kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CTSG
別名	CTSG; Cathepsin G; CG
遺伝子 ID	1511.0
SwissProt ID	P08311
免疫原	抗血清はヒト CATG 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 2-51

**背景**

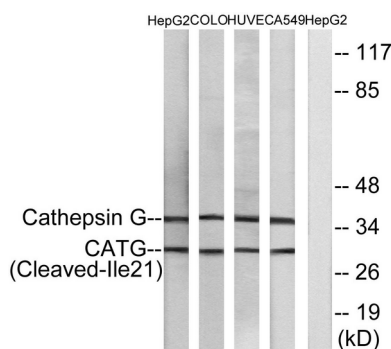
この遺伝子によってコードされるタンパク質はペプチダーゼ S1 タンパク質ファミリーに属し、好中球性多形核白血球のアズール顆粒に存在します。コードされているプロテアーゼはキモトリプシン C と同様の特異性を有し、貪食された病原体の殺菌・消化、および

炎症部位における結合組織のリモデリングに関与していると考えられます。さらに、コードされているタンパク質は抗菌性を有し、S. aureus および N. gonorrhoeae に対して殺菌活性を示します。この遺伝子には、異なるポリアデニル化シグナルを利用する転写バリエーションが存在します。[RefSeq 提供、2014年9月]、触媒活性: キモトリプシン C と同様の特異性、酵素制御: 大豆トリプシン阻害剤、ベンザミジン、合成ペプチド R13K、Z-Gly-Leu-Phe-CH2Cl、フェニルメチルスルホニルフルオリドによって阻害される。P.aeruginosa 由来の LPS によって阻害されるが、S.minnesota 由来の LPS では阻害されない。、機能: トリプシンおよびキモトリプシン様の特異性を持つセリンプロテアーゼ。グラム陰性菌である P.aeruginosa に対して抗菌活性を有し、P.aeruginosa 由来の LPS、Z-Gly-Leu-Phe-CH2Cl、フェニルメチルスルホニルフルオリドによって抗菌活性が阻害される。、類似性:ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。、類似性:ペプチダーゼ S1 ドメインを 1 つ含む。、

## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;リソソーム;レニン-アンジオテンシン系;全身性エリテマトーデス;

## 画像データ



HepG2、COLO、HUVEC、A549 細胞のライセートを CATG (Cleaved-Ile21) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



切断型カテプシン G (I21) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析